

令和2年度武蔵村山市一般会計補正予算（第4号）の概要

1 補正予算の規模 （単位：千円）

補正前の額	補正額	補正後の額
36,673,824	664,984	37,338,808

2 補正予算の財源内訳 （単位：千円）

国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	財政調整基金 繰入金
33,571	226,803	137,300	△ 28,486	295,796	294,658

3 補正事項（主要な施策）

(1) 新型コロナウイルス感染症対策事業

○子育て世帯臨時支援事業【子ども家庭部】 6,058万円

国の「特別定額給付金」の給付対象とならない令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子どもを対象として、1人につき10万円の臨時支援給付金を支給

○出産・子育て応援事業【子ども家庭部】 161万円

令和2年4月1日以降に出産した産婦に対し、育児パッケージ（こども商品券）を配布（東京都補助事業の対象者以外の方）

○学校給食費補助事業【教育部】 7,638万円

市内小中学校に在籍する児童・生徒の保護者の経済的な負担軽減を図るため、学校給食費を3か月間全額補助

○事業者緊急支援事業【協働推進部】 7,893万円

セーフティネット保証等により、金融機関から融資を受けた法人又は個人事業主に対し、事業者応援給付金を支給（法人10万円、個人事業主5万円）

○介護・障害福祉サービス事業者緊急支援事業【健康福祉部】 2,375万円

市内の介護サービス事業者及び障害福祉サービス事業者に対し、緊急支援事業給付金を支給（1事業者につき25万円（2か所以上でのサービス提供事業者は50万円）

○プレミアム付商品券発行事業【協働推進部】 **1億2,623万円**

市内事業者の支援及び消費喚起のため、武蔵村山市プレミアム付商品券を発行（全店共通券（A券）及び地元応援券（B券）を組み合わせた1冊1万3千円分の商品券（2万6千冊）を1万円で購入）

○特殊詐欺防止対策事業【総務部】 **32万円**

各種給付金等に関連した特殊詐欺が増加していることから、自動通話録音機の貸与台数を50台追加（当初分と合わせて100台を貸与）

○避難所における感染症対策【総務部】 **2,294万円**

マスクや非接触体温計、手指消毒剤、段ボール間仕切り等の避難所用感染症対策物資の購入・備蓄

○特定保健指導への遠隔面談の導入【市民部】 **31万円**

遠隔面談に使用するタブレット端末（5台）の購入

○マスク等の感染症対策用衛生資材の備蓄拡充等【健康福祉部】 **685万円**

- ・マスクの備蓄数を拡充
- ・新たな感染症対策用衛生資材（フェイスシールド）の購入・備蓄

(2) その他の事業

○小・中学校ネットワーク環境施設整備事業【教育部】 **2億2,104万円**

市内全小・中学校の校内通信ネットワーク及びカメラ、マイクの整備

○国土強靱化地域計画の策定【企画財政部】 **326万円**

国土強靱化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、現在策定中の第五次長期総合計画と合わせて国土強靱化地域計画を策定

備考 補正事項（主な施策）の予算額は1万円未満を四捨五入